



青木のりお(31)
プロフィール
 昭和52年8月26日生まれ
経歴
 1984年・川崎めぐみ幼稚園卒
 1990年・洗足学園小学校卒
 1993年・サレジオ中学校卒
 1996年・サレジオ学院高等学校卒
 2000年・産業能率大学経営情報学部卒
 2004年・ポリス大学大学院(イギリス)国際経営学Dip取得
 2007年・川崎市議会議員に当選

趣味
 野球(ピッチャー)、アメフト(クォーターバック)、英会話、茶道(圭鳳流師範お茶名鳳雄)

自転車の事故撲滅と放置自転車ゼロを目指して!

私たちの生活の一部である自転車。私も川崎市役所まで、自転車で通っているが、危険を感じることも多々あります。マナー違反をする人も多くいるが、大抵の場合は、歩道を走ればいいのか、車道を走ればいいのか迷っていることや車、自転車、歩行者がしっかりと分離されていないのが問題です。

過日も歩道で歩行者と自転車のほうが、口論となり、傷害致死事件が起きてしまいました。このような、事件が二度と起きないように、整備を進めるための質問をしました。

また、自転車問題に関して

連して駐輪場の料金の見直しが始まっております。これは、放置自転車対策や駐輪場の整備費用などに関するものです。料金が決まる前に、基本方針についても市民の皆さんに知識を深めていただくために、議会で質問をさせて頂きました。

以下 議会での質問とその回答

Q 事件が起きた場所は、危険個所として把握していいのでしょうか、川崎市には、危険個所がいくつあるのか?

A 106か所あり、80か所が未整備。

Q 自転車に関して、駐輪場の料金の見直し検討が始まっていますが、進捗とスケジュールは?

A 現在まで、2回会議があり、適正なコスト範囲の設定と料金の弾力的な運用を考え、コストの負担は、駅別、距離別、施設別に検討をしています。

要望.. 市内、市営、民営合わせて175か所、63000台の駐輪場の最適利用と13000台を超える、放置自転車の整理は重要です。解決に向けて更なる検討が必要。しかし、景気後退の恐れがある今は、料金の改定にはより慎重を期す必要があることを要望。

**観光立国日本の芸術拠点を川崎へ
 川崎市高津区生まれ 岡本太郎さんの作品の活用を!**

高津区生まれの岡本太郎さん。太郎さんの作品『明日の神話』が昨年11月渋谷駅に誕生し大きな盛り上がりを見せました。3ヶ月たった今でも、立ち止まって写真を撮る人が後を絶ちません。岡本太郎さんは川崎市に多くの作品を寄付をしてくれております。作品は、生田緑地の美術館にありますが、まだまだ有効な活用ができるのではないのでしょうか?

多くの人がアクセスしやすい場所を積極的に活用して認知度を日本中、世界中に広めていけば、たくさんの方が川崎市を再発見し観光に来てくれるはずです。私も美術館に足を運びましたが、わくわくどきどきの連続でした。行ったことのある人は是非もう一度。いったことのない人はだまされたいと思って一度足を運んでみてください。きっと後悔しないはずです。

以下 議会での質問とその回答

Q 明日の神話が駅に復活しましたが、川崎市との連携は?

A NPO法人や岡本太郎機縁現代芸術振興財団と連携をとり協力した。

Q 2011年には、岡本太郎さん生誕100年になります。今後の取り組みは? 駅などのアクセスが多い場所、またその付近に展示会を開いてはどうか。

A 場所の選定や管理、警備等の問題があります。展示が可能かどうか今後、検討していく。



岡本太郎さん作品『明日の神話』



自由民主党神奈川県川崎市高津区第6支部
青木のりお事務所
 〒213-0027 神奈川県川崎市高津区野川3895

TEL 044-788-8899
 FAX 044-788-6440
 E-mail info@aokinorio.com
 H P http://aokinorio.com